

## No.8

### 早春の黄色い草花

お彼岸が過ぎる頃より田んぼや道端には黄色い可憐な草花がたくさん咲き始めます。黄色の花は昆虫の眼にはよく見えると言われています。春の息吹が感じられる可愛い草花を紹介します。



1 : ヤブタビラコ



2 : ヘビイチゴ



3 : ミツバツチグリ

- ① **ヤブタビラコ(キク科)** 人家近くの林の縁や田の畔などによく生える。コオニタビラコに比べ根生葉が立ち上がり茎も斜上する。花弁はコオニタビラコが10枚前後なのに対し20枚くらいと多い。
- ② **ヘビイチゴ(バラ科)** 蛇が出そうなところに生えるのでこの名がついたが、実は毒ではない。田んぼ一面咲くと見応えがある。実が大きく背が高くなるヤブヘビイチゴもある。
- ③ **ミツバツチグリ(バラ科)** ヘビイチゴに似ているが、葉が長めで大きく這った枝を出す。副萼片が花弁より小さい。山地など少し乾いた所に多い。実は赤く膨らまず茶色くなる。



4 : ニガナ



5 : オオジシバリ



6 : オヘビイチゴ

- ④ **ニガナ(キク科)** 日当たりの良い道端などにごく普通に生える多年草。舌状花は普通5枚、8~10枚あるものはハナニガナ。茎や葉を切ると苦味のある黄色い乳液が出る。根生葉は長い柄がある。
- ⑤ **オオジシバリ(キク科)** やや湿り気のある道端や水田などごく普通に見られる多年草。花茎は高さ20cmになり、直径3cmくらいの黄色い花を2~3個付ける。よく似たジシバリに比べ葉が長い。
- ⑥ **オヘビイチゴ(バラ科)** 駐車場の奥などやや湿った所に生える多年草。茎は地面を這う。葉は5枚の小葉からなるが、上の方では3枚のものもある。実は赤く膨らまず茶色くなる。